

令和4年度（2022年度） 第1回宇部市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和4年7月22日（金）19時～20時

場 所：宇部市役所 3階 3-3、3-4 会議室

出席者：【委員】9名（うちオンライン参加 4名）

【事務局】21名（うちオンライン参加 7名）

【傍聴者】なし

次第

次第

事務局あいさつ

- 1 議題1「令和3年度（2021年度）宇部市地域包括支援センターの事業報告について」
- 2 議題2「令和4年度（2022年度）宇部市地域包括支援センターの事業計画について」
- 3 議題3「令和3年度「福祉なんでも相談窓口」事業実施状況及び令和4年度（2022年度）事業について」

議題1「令和3年度（2021年度）宇部市地域包括支援センターの事業報告について」事務局から説明

（委員）・・・ 介護予防支援事業の委託数について、事業所毎のばらつきが気になる。
委託先の事業所選択に工夫がしているのではないかと。

【事務局】・・・意見を踏まえ、包括からのヒアリング等行い検討したい。

（委員）・・・今年度中に回答してもらいたい。

（委員）・・・包括の社会福祉士の資格取得からの経験年数はどのくらいか？

また、権利擁護業務、法定後見制度など、どのくらいが市長申し立てにつながっているのか？全国的に包括の社会福祉士は資格をとってすぐの配置が多い印象があり、社会福祉士としてのスキルや嗅覚がないと虐待ケースを見逃してしまうことがあると思う。

【包括】・・・これまでの他の業務の経験を活かして業務にあたっている。具体的な数字等については、把握していない。権利擁護の相談等は、専門機関につなぐ件数は少ないが、相談は増えていると思う。

（会長）・・・議題1承認の方は挙手を。

～過半数以上で承認～

議題2 「令和4年度（2022年度）宇部市地域包括支援センターの事業計画について」事務局から説明

（会長）・・・ 基本的にはこれまでを踏襲するが、特に力をいれることや令和3年度と違うところは何か？

【事務局】・・・ 実施方針の大きな目玉は2番目のチームオレンジの構築。

包括10か所を母体としてそれぞれ活動してもらっている。

チームオレンジは認知症の当事者・家族、プラチナサポーター、認知症支援推進員がそろって活動できる。その中で、認知症当事者の参加も促したい。

（委員）・・・ 認知症が注目されていくのに伴って、認知症のサポーターが注目されるのも必然。認知症の課題が市・県・全国でも高まっている中で、包括の果たしていく役割は今後高まっていくのではないか。こうした市の取り組みが地域にとって心強いと思うので期待している。また、もう少し地域に知ってもらう必要があるようにも思う。

（会長）・・・ 今年度以降もアクティビティが高まるようにしてもらいたい。

議題2について、承認の方は挙手を。

～過半数以上で承認～

議題3 「令和3年度「福祉なんでも相談窓口」事業実施状況及び令和4年度（2022年度）事業について」事務局から説明

（委員）・・・ 我々も孤立を防ぐ取り組みに注力してきた。なんでも相談は、今後強化や連携していくべきと思う。

（会長）・・・ 今後も市に相談してもらいたい。

（会長）・・・ これまでどこに相談したらよいかわからないというようなことはなかったか？

（委員）・・・ ときどきあった。

（会長）・・・ 広報はなかなか難しいとは思いますが努力してもらいたい。

（委員）・・・ 民生委員の立場としてはできるだけ包括に相談するようにしている。様々な相談窓口があり、どこが適切なかわからないことがある。生活困窮者の相談など、たくさんの相談窓口があって便利なようだが、どこにいけばよいのかと迷うことが多い、そうした時は、包括に相談するようにしている。

（会長）・・・ 議題3について、承認の方は挙手を。

～過半数以上で承認～

(会長)・・・今回出された課題は、事務局の回答が整えば改めて示してもらいたい。

以上で、令和4年度第1回宇部市地域包括支援センター運営協議会を終了